

草津市立少年センター・あすくる草津

少年センターだより



デジタル世代の子どもたちをどう育てていくのか



草津市小中学校長会 中学校長代表

玉川中学校長 江竜 眞司

本校では、毎年、情報教育講演会を開催し、ICTの専門家である講師の先生にお話をいただいて、親子で見聞を広げています。今年、講演会後の感想が非常に興味深かったので、ここではその一部を紹介します。

生徒の感想は、「普段よく使っているアプリのアカウントから個人が特定できるという話に驚いた」など、アプリの危険性や設定方法に関わるものが多く、保護者からは、「知らない言葉、知らない内容がたくさん出てきてゾッとした」など、新しいものへの戸惑いが見て取れました。そこには確かな格差が存在しています。

一昔前までは、「高校合格のお祝いは携帯電話」という時代もありましたが、今年度の全国学力・学習状況調査によると、小6で携帯電話・スマートフォン・PCを持っていないのは11.4%、中3では4.1%となっています。



また、学校では、2020年度に全国の小・中学生の「1人1台端末」が実現し、今年度には県立高校でも導入されました。生まれながらのデジタル世代である子どもたち。彼らがネットトラブルを起こさない、トラブルに巻き込まれないようにするためには、どのようにしていけば良いのでしょうか。家庭内での親子のコミュニケーションをしっかりと取り、家庭内でのルールを決めることも大切です。そのためには、親世代も新しい技術や情報に対応すべく、勉強していかなければなりません。しかし、一部の専門的な知識や技能を有する大人を除くと、多くの親たちは子どもたちに追いつくことは到底できないでしょう。

今、子どもたちにとって必要な教育とは、自分自身を大切にすること、他の人への思いやりの心を大切にすること、豊かな心を育てる教育だと思います。自分自身を大切にすることを持った子どもは、個人情報大切にします。他の人への思いやりの心を持った子どもは、SNSでむやみに誹謗中傷したりしません。



高速ネットワークの発達とデジタル機器の普及は、私たちに便利で、効率の良い生活を提供してくれました。また、この3年間のコロナ禍で、リモートワークやオンライン授業が当たり前になり、もうデジタル機器なしの生活に戻ることはできません。そんな今だからこそ、バーチャルではなくリアルな体験を積み重ね、豊かな心を育てる教育を充実させていくことが大切であると感じています。

中学校卒業生向け「啓発グッズ」を作成しました！！

3月になり様々な草木が芽ぐみ、花々がつぼみを膨らませ、春の息吹が感じられるようになってきました。春は「別れ」の季節であるとともに「出会い」や「旅立ち」の季節でもあります。中学校を卒業する皆さんが、これから進んでいくそれぞれの道には様々な苦難があるでしょうが、『それらに負けず乗り越えてほしい、悩み事が起きた時の相談場所の一つとして少年センターを覚えておいてほしい』との思いから、この「啓発グッズ」を作成しました。応援メッセージは、昨年サッカーワールドカップ日本代表 森保一監督の言葉「**最高の景色を見られるように願い続ければ、必ずこの壁は乗り越えられる**」としました。すべての卒業生の皆さんの未来が輝かしいものでありますように！！



「少年センター運営委員会」を開催しました！



少年センター運営委員会

2月3日（金曜）キラリエ草津で「草津市立少年センター運営委員会」を開催しました。委員には草津警察署生活安全課長をはじめ関係機関の代表、市内小中学校・高等学校校長の代表、公募委員、併せて15名の方に委員を委嘱し、当センターの令和3・4年度業務活動状況について協議いただきました。委員の方々からは、それぞれの立場から少年たちの現状や課題についてのお考えや、センター事業の在り方等に対する御意見を頂戴することができ、有意義な会議となりました。

「少年補導委員会研修会」～少年の立ち直り支援を通じて～



2月1日（水曜）キラリエ草津で「草津市少年補導委員会研修会」が開催され、県警少年サポートセンターの 寺元敏子 様に上記テーマで講演いただきました。少年補導委員、関係機関や中学校の担当者など39人が参加された中で、サポセンの仕事やSNS・虐待の事例、少年の周りにいる大人の継続した関わりの大切さ等についてわかりやすく説明いただきました。参加者の感想として「子どもたちの声に耳を傾けることを心がけて活動していく」など、積極的なものがたくさんありました。



少年補導委員会研修会

※お悔み

草津市少年補導委員として、長きに渡り青少年の健全育成に御尽力いただきました 根本 千明 様（大路区 幹事）が昨年末に御逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげますとともに、哀悼の意を表します。



今、あすくるでは...

自然界を生き抜く力！

屋上にあるあすくる農園、今年で2年目を迎えます。昨年同様たくさんの農作物を収穫しました。しかし、大きく違っていたのは…。昨年は雑草や虫たちの姿はほとんど見られなかったのですが、今年は6階にある農園とは思えない、雑草や青虫、バッタの姿を見かけ「いったいどこから？」と尋ねたくなりました。自然界を生き抜く力の強さを改めて感じました。あすくるに通う少年たちにも、自分らしく、そして力強く前に進んで行ってほしいと思います。



今年度のあすくるでの活動の様子



私にとっての“あすくる”～通所して思うこと～

「あすくるで頑張ったことは何？」とある少年に質問したところ「遅刻することもあったけど毎週頑張ってきたこと」、そして「家では作ったことがないこ焼きを作ったこと」と答えてくれました。生活リズムを整え、週に1回でしたが、決まった時間にあすくるに来ることが「頑張ったこと」として少年の自信につながったようです。また、職員と賑やかにいろいろな話をしながらこ焼きを作ったことで、『作る楽しさ』や『人と触れ合うことの楽しさ』も感じてくれたのだと思います。

あすくる農園



ひとりで悩まず！まずは相談を！！

非行等さまざまな課題を抱えた、少年本人・保護者・関係者などからの相談に応じています。

○電話相談 ○面接相談（相談は無料です。）
月曜日から金曜日（祝日、年末年始は休業）9：30～16：00
相談専用電話（077）562-0594

カウンセラー（臨床心理士）による相談も実施しています。
※要予約

～少年に 愛のひと声 わたしから～

草津市立少年センター・あすくる草津

〒525-0032 草津市大路二丁目1-35 市民総合交流センター（キラリエ草津）3階
TEL(077)562-6561 FAX(077)567-0557

